

— 企業理念 —
地域社会に貢献し、
地域に求められる企業を目指す

— 社 是 —
儲 ・ 質 ・ 和

下期・第14号（平成29年2月発行）

HB だより

Vol.14

安全基本方針 『一人ひとりが考えて行動し、危険予知活動を基軸にした安全・安心な職場づくり』
平成28年安全スローガン 『身に付けよう 基本作業とプロ意識 みんなで築こう 安全職場』

ea エコアクション21 認証取得!

エコアクション21

エコアクション21認証・登録制度とは?

環境省が作成した「エコアクション21ガイドライン」に基づき二酸化酸素や廃棄物の削減、節水など環境負荷の軽減に積極的に取り組む企業や団体などが対象となる2004年から始まった認証・登録制度です。

当社では認証取得に向けて社内啓蒙、社内ルールの策定と遵守、電気・水の使用料や廃棄物の排出量をデータ化して分析を行い、下記のような環境負荷軽減のための活動を行ってきました。

そして審査を経て、各活動と環境負荷低減の効果が認められ、2017年2月3日に晴れて認証を得ることができました。



【二酸化炭素排出量の削減】

電気の使用量を減らそう!
ガソリンの使用量を減らそう!



【一般廃棄物の削減】

紙の使用量を減らそう!



【水使用量の削減】

水の使用量を減らそう!



【環境に配慮した洗剤の使用促進】

環境配慮型洗剤を使おう!



ハウス美装工業株式会社は、建物総合維持管理業務を通して、節電・節水及び環境に配慮した作業方法や資機材の使用を徹底し、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的に取り組みます。全従業員で、環境にやさしい企業を目指しましょう。

従業員紹介制度の見直し

先日の出勤簿と一緒にご案内いたしました。したが、現在、体調不良・入院・退職等の理由で欠員の状態が恒常化し、皆様にも非常に迷惑をおかけしております。

当社も各種機関等での求人募集活動をしていきますが、未だに人手は足りていないのが現状です。そこで現在の紹介制度の内容を見直し、より多くの皆様に紹介していただける環境にして人手不足の解消に努めます。

紹介制度の見直し後の流れ

- 一、紹介したい人の履歴書を担当者まで持ってきてもらう
 - 二、面接したのち採用ならば就労開始、紹介者に一、〇〇〇円の商品券進呈
 - 三、紹介で新規採用した方が雇用開始日より一ヶ月継続勤務後、紹介者に二、〇〇〇円の商品券進呈
 - 四、紹介で新規採用した方が雇用開始日より六ヶ月継続勤務後、紹介者に五、〇〇〇円の商品券進呈
- ※年末調整の課税対象となります。

紹介制度とは別に、今の勤務に支障がない程度で週に二回、仕事をしてみたいと思った方もご連絡ください。

謝恩会の開催

平成二十八年十一月二十二日(火)、高松国際ホテルにおいてハウス美装工業(株)の謝恩会を開催しました。

今年も協力会社や取引先等の常々当社の仕事に携わっている方々にお越しいただき、楽しい時間を過ごしていただきました。

【平成二十八年 感謝状 贈呈】

株式会社

伊賀モーターズ 殿



平成二十九年 仕事始め

安全祈願祭

一月四日(月)、屋島東町にある成田山聖徳寺において安全祈願祭を執り行いました。

社長、専務、常務、部課長、安全衛生委員の二十数名が出席し、今年一年の無事故をご祈禱していただきました。

新年会

同日、ルポール讃岐においてハウス美装工業(株)、(有)屋島クリーンサービスマスならびに全衛生協力会の新年会が開催されました。

まず初めに、社長より年頭の挨拶があり、引き続き、永年勤続者の表彰が行われました。続いて、ご来賓の祝辞、平成二十八年の事業進捗状況報告・平成二十九年の事業計画の発表が行われました。

永年勤続表彰者は次のとおりです

(敬称略)

ハウス美装工業(株)

【三〇年 表彰】

藤島哲子

【二十五年 表彰】

北川節子 矢野 薫 渡辺夕キ子

【二〇年 表彰】

恵井美智子 大島誠悟 木下重子

芝野義彦 藤本康雄 渡辺夕カ子

【十五年 表彰】

馬越嘉代子 奥田孝一 尾崎雄史

織田信子 久保田ヒデ子 下谷政文

豊嶋孝一 中山一美 橋津れい子

濱田健太郎 山田信子

【一〇年 表彰】

赤松知誉子 伊賀エミ子 生駒伸江

指宿邦子 今岡てるみ 植田佳福

加藤昌美 兼若亀代栄 國方 亮

小島洋一 菅 貴司 高杉聡美

西尾憲司

長谷川増美

米谷壽恵

松下久子

松本 清

宮武澄子

三好一宏

吉見浩二

渡辺すみ子



永年勤続表彰 受賞者

職場の教養

【心と心をつなぐ言葉】

文化庁が行った直近の「国語に関する世論調査」によると、「美しい日本語があると思う」と答えた人が、全体の九十・八％にのぼり、多くの人が「思いやりのある言葉」や「挨拶の言葉」に美しさを感じていることがわかりました。

「どのような言葉に出会ったとき、心と心をつなぐ言葉の大切さを感じるか」という質問には、「地域や職場で気持ちよく挨拶をし合うとき」が一位でした。

そして、「山道などで行き会った者が『こんにちは』などと声を掛け合うとき」という回答が二位という結果となりました。挨拶が、人の心と心をつなぐ大切な実践項目であることには、誰も異存はないでしょう。

例えば「おはようございます」という挨拶一つでも、互いの心の距離がぐっと近づきます。なぜなら、そこには「今日一日、仲良く励みましょう」という、平和宣言ともいえる意志も含まれているからです。さあ、今日も互いに、明るい声で挨拶を交わしましょう。

編集後記

二月四日は「春が立つ」と書いて立春でした。立春とは季節を分ける節目の日であり、春が始まる前日に厄払いをするという意味で節分に豆まきをするそうです。

まだまだ寒い毎日ですが、皆様、風邪など引かれませぬように。

次号 Vol.15

平成二十九年八月 発行予定